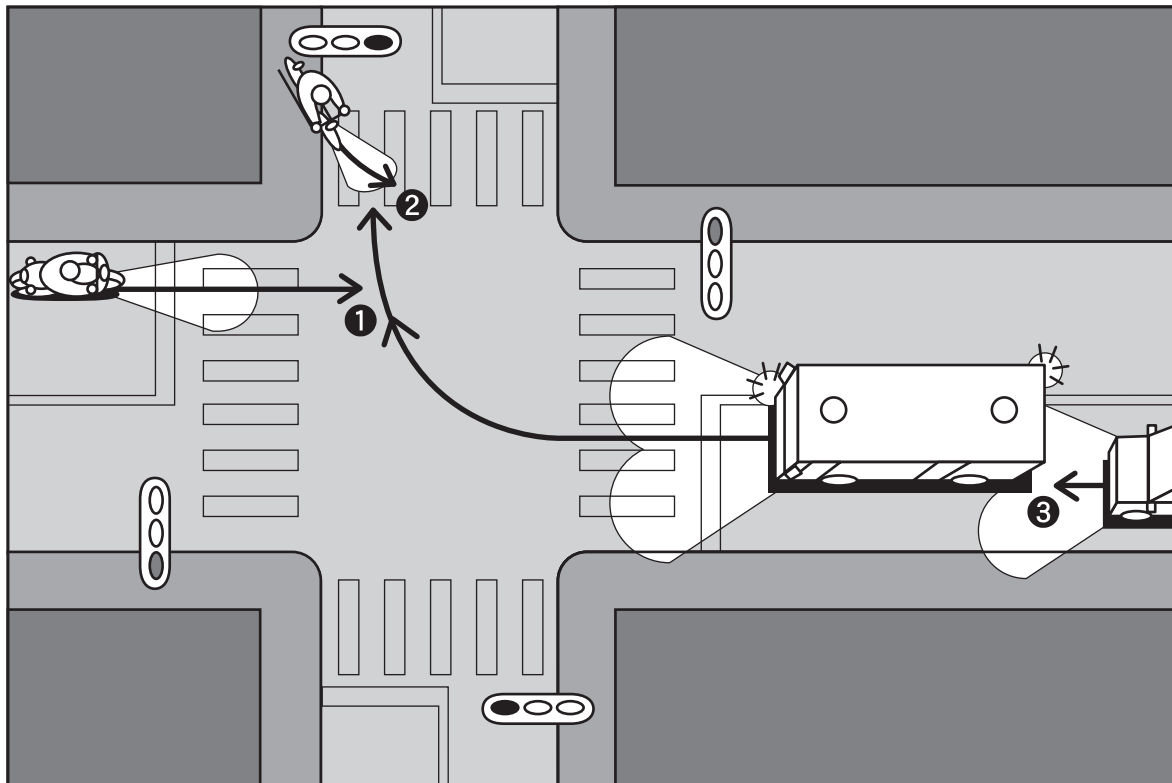


## 〔バス 1〕 夜間の交差点の右折



### 1．主な危険要因の例

- ① 対向二輪車が交差点に接近しており、このまま右折をしていくと衝突する危険がある。
- ② 自転車が横断歩道を渡ろうとしており、このまま右折をしていくと衝突する危険がある。
- ③ 右折しようとして対向二輪車の接近や自転車の横断のために急停止すると、後続車に追突される危険がある。

### 2．安全運転の例

対向車が接近しているときは右折をせずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。

右折していくときは、横断歩道の状況に注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。

### 3．乗務員指導のポイント

次のような夜間の右折時の安全走行の基本について再確認させる。

- ・夜間はヘッドライトしか見えないため、対向車の速度を的確に判断するのは難しいので、対向車があるときは無理をせず、対向車の通過を待つ。
- ・対向車ばかりに注意を向けると横断する自転車や歩行者を見落としてしまうので、横断歩道の状況にもよく目を配る。
- ・右折していくときは、いつでも停止できる速度で進行する。  
急停止は追突される危険だけでなく、乗客の転倒など車内事故の原因ともなるので、急停止しなくてもよい運転を心がけるよう指導する。